

おしゃべり通信

No. 281 R5.5.15 発行 如春会 浦田医院

COVID-19/小児多系統炎症症候群 (MIS-C) の 重度神経障害の頻度・分類の変化 = 2020年・2021年度の米國小児入院患者による =

2020年の米国におけるICU入室等の重症急性COVID-19あるいはMIS-Cによる小児入院患者の22%で神経障害が認められ、内12%は重度の障害であったことが報告されました。

- ▽ 観察期間：2020年12月15日から2021年12月31日
- ▽ 米国55病院に入院した21歳未満の重症急性COVID-19あるいは米国疾病予防管理センター(CDC)の診断基準を満たすMIS-C患者2,168名(男性58%・女性42%、年齢中央値10.3歳)
- ▽ 致死的神経学的状況および神経学的欠落症状(運動、認知、または言語機能の重大な障害)の有・無について判定。

<結果>

- 1) 2,168名中476名(22%)の診療録に神経障害の記載
 - ① 年長児や基礎疾患として既に神経疾患を有する患者により多く出現
 - ② けいれん発作は幼若小児に生じやすい
 - ③ 味覚・嗅覚障害は青年期に多く認める
- 2) その内434名(91%)は生命に関係のない神経障害最も
 - ① 疲労感、脱力感、混迷、頭痛、味覚・嗅覚障害
 - ② 90%が神経学的後遺症なく生存、
 - ③ 5%が死亡、
 - ④ 4%が重篤な神経疾患の後遺症
- 3) 残り42名(9%)には“致死的な神経症状”が出現
 - ① 中枢神経系急性感染症/急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) 23名

- ② 脳卒中11名
- ③ 重度脳症5名、
- ④ 急性劇症脳浮腫2名
- ⑤ ギランバレー症候群1名

4) 致死的な神経障害を呈した患者はデルタ株流行以前と比較すると、デルタ株でより多く出現していました。このデータではオミクロン株との比較はまだありません。

- ① 42名中10名(24%)が退院時に新たな神経学的欠落を伴って退院
- ② 8名(19%)が死亡

この調査において、ワクチン接種状況が確認された対象者155名中147名(95%)がワクチン未接種であり、致死的な神経障害を呈した患者においても16名中15名(94%)がワクチン未接種でした。

この調査は2021年も継続されており、急性中枢神経感染症/ADEMは2020年よりも多くの致死症例の原因になりました。

2021年より、新型コロナワクチン接種は青年や小児にも接種可能になりましたが、接種率は低いままです。これは日本においても同様の結果です。

一方、重症感染者の中で確認できたことは新型コロナワクチン接種は、急性COVID-19およびMIS-Cの入院阻止に有用であり、関連する神経学的合併症を減らしているということです。

まだ接種をためらっている方々においては、もう一度、その意義を考えてみませんか？

(この項了)

改変および文責) 2023/05/10 S.URATA.MD

原著) 著者名: Kerri LL, Tina YP, Cameron CY, et al.

論文名: Changes in Distribution of Severe Neurologic Involvement in US Pediatrics Inpatients With COVID-19 or Multisystem Inflammatory Syndrome in Children in 2021 vs 2020
雑誌名: JAMA Neurol. 2023;80(1):91-98.

DOI: 10.1001/jamaneurol.2022.3881

URL: <https://jamanetwork.com/journals/jamaneurology/fullarti>

[cle/2798383?resultClick=1](https://doi.org/10.1001/jamaneurol.2022.3881)

図: 致死性 COVID-19 関連・神経障害の中中枢神経画像

A: 脳静脈洞血栓を伴った髄膜炎

Microglial with cerebral venous thrombosis



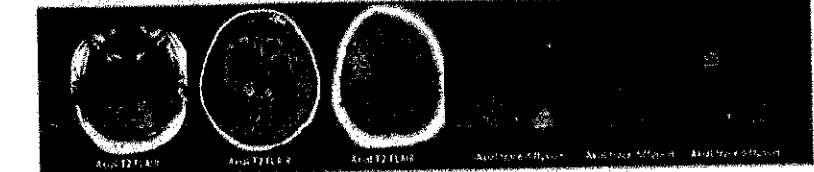
B: 脳髄膜炎 (ADEM 様)

Microglial with cerebral venous thrombosis (ADEM-like)



C: 脳炎 (ADEM 様)

Encephalitis (ADEM-like)



👤小児のコロナワクチン接種について👤

当院では引き続き、6か月～4歳の乳児ワクチン、5歳～11歳の小児ワクチン接種を行っております。

接種回数や年齢により、使用するワクチンの種類が異なりますので、接種をご希望の場合は早めに接種の予約をご相談ください。

接種当日は、予約票や母子手帳を忘れないようお持ちください。また、コロナワクチン以外の予防接種との間隔が前後に2週間必要ですので、その点も要確認され、接種スケジュールを組むようよろしくお願い致します。

不明点がありましたらスタッフまたはお住まいの市町村の保健センターにご相談ください。